

目次

- 【01】 募集案内
OFIXが行う国際理解教育支援
- 【02】 大阪府外国人情報コーナーだより
よくある質問（FAQ）
- 【03】 国際クラブニュース～奨学生からお便りが届きました～
世界のおいしい料理 OFIX奨学生 レシピ特集
- 【04】 OFIXネットワーク（国際関係団体のご紹介）
財団法人 サントリー文化財団
- 【05】 OFIX国際交流員レポート
笑いのつぼ
- 【06】 事業報告
留学生のための合同企業説明会
- 【07】 ボランティアニュース
ホームビジット受け入れ体験談
オフィックスボランティア登録制度のご紹介

【01】 募集案内

OFIXが行う国際理解教育支援

～国際NPO人材派遣支援事業～

大阪府内の国際理解教育の充実とNPO等の支援のため、NPO等が学校に出向いて国際理解学習の授業を行う場合、当該授業及びその打ち合わせに要する交通費相当額を助成します。

【助成対象団体】

大阪府内のNGO・NPOや市町村国際交流協会など

【助成金対象授業等】

NPO等が大阪府内の学校（小学校、中学校、高等学校など）の要請を受け、当該学校を訪問して行う国際理解教育にかかる授業及び行事

【助成金上限額】

1回の派遣につき、1人あたり5,000円

手続き、助成対象など詳細はこちら

<http://www.ofix.or.jp/boran/index2.html>

～国際理解教育人材派遣事業～

学校等で行う国際理解教育を目的とした授業や交流活動などにOFIX国際交流員、留学生、研修生、JICA国際協力推進員などの人材を派遣します。費用は無料です。

詳しくは <http://www.ofix.or.jp/jigyou/index2.html>

～国際理解教育総合WEB～

学習目的にマッチする外部資源を探すひとつの手がかりとして使用していたため、学校の国際理解教育に活用できるプログラムを有している大阪府内のNPO等の情報をインターネットから検索できるよう、OFIXホームページ内にWEBサイトを設けています。是非、ご活用下さい。

<http://www.ofix.or.jp/jigyou/index.html>

【02】 大阪府外国人情報コーナーだより

よくある質問（FAQ）

大阪府外国人情報コーナーには、国民健康保険に関する相談が多く寄せられます。国民健康保険に加入できず医療費の支払いに困っている人や、加入資格があるにもかかわらず、保険料（税）の支払いを避けたい人の両方の立場からのご相談があります。

国民健康保険の加入資格は、在留資格が大きく関係しており、合法的に在留する外国人の方で、1年以上日本に在留しており（1年以上の在留が見込まれる人も含む）、他の公的健康保険に加入していないことが要件となります。また一方で、公的保険に加入資格があるにもかかわらず、手続きを取らずにいると、資格を取得したと考えられ得る時期に遡って最長2年間の保険料の支払いを求められることとなります。（年金・医療保険制度への二重加入を防止するための日米社会保障条約により、アメリカ人の場合は、加入免除手続きをとることができる場合があります。）また、来年4月からは、「在留資格変更・在留期間更新のガイドライン改正」の一環として、社会保険加入義務がある場合は、外国人の方は、在留手続きの際に入国管理局から健康保険証の提示を求められますので、特に注意が必要です。

大阪府外国人情報コーナー（月～金曜日（祝日を除く））

専用電話：06 6941 2297（対応時間：9:00～17:45）

F A X：06-6966-2401

E-mail：jouhou-c@ofix.or.jp

対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、日本語

【03】国際クラブニュース

世界のおいしい料理 OFIX奨学生 レシピ特集

OFIXの奨学生が中国と韓国のおいしいレシピを送っていただきましたので、ぜひ作ってみてください。

詳細と写真はこちらで <http://www.ofix.or.jp/club/recipe1.pdf>

【04】OFIXネットワーク（国際関係団体紹介）

（財団法人）サントリー文化財団

サントリー文化財団は、サントリー株式会社の創業80周年を記念して1979年2月に設立され、本年、設立30周年を迎えました。その目的は、国際化、情報化、大衆化社会の進展にあって、有能な人材の発掘、独創的で冒険的な研究の助成を通じて、わが国の厳しい内外環境の変化への対処、日本と世界の相互理解に貢献することにあります。

助成活動には、人文・社会科学分野における学際的な研究に対する「研究助成」、日本に関する研究や評論、文学等の翻訳出版に対する「出版助成」があります。顕彰活動には、「政治・経済」「芸術・文学」「社会・風俗」「思想・歴史」の4部門において、優れた著作を発表した新進の研究者や評論家を顕彰する「サントリー学芸賞」、地域発展に文化活動を通じて貢献をした個人・団体を顕彰する「サントリー地域文化賞」があり、受賞者の方々は日本を代表する研究者として、また地域のリーダーとして、各界で活躍されています。

写真は印刷版で

http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber/mail_japanese_no12.pdf

【05】OFIX国際交流員レポート

笑いのつぼ

皆さんこんにちは、リチャードです！今月世界中の人々が大好きな事について書きたいと思います。ずばり、笑う事です！日本人は本当に笑うことが好きで、特に大阪人は最も笑いにうるさい人達だと言えるでしょう。大阪はお笑い文化の中心となっています。大阪には吉本興業というエンターテインメント会社があって、常に新しい漫

オコンピをブレイクさせていて、そのほとんどは大阪だけではなく、全国的な人気芸人として活躍しています。

漫才には、二つの役割があります。「ぼけ」と「つつこみ」です。とても速いペースで駄洒落、冗談がたっぷり入っている会話をします。「ぼけ」の馬鹿発言に対して、「つつこみ」が怒ったり、「ぼけ」の頭を殴ったりします。やはり、私には早すぎて時々何を言っているのか分からない時がありますが、漫才を見るだけでも高レベルの笑いのつぼやタイミングの重要さを誰でも学ぶ事ができると思います。

日本のお笑いで一つ気づいたことは、痛い事や危ない事、また恥ずかしい事をして笑わす事が多いということです。お笑い芸人は、ばかばかしい状況に置かれて、視聴者が爆笑する番組が沢山あります。最近見た番組では、お笑い芸能人がレストランに行って、苦しみながら順番に全てのメニューを食べつくします。その時、消化不良や吐いているふりなどの「爆笑」シーンが続きます。今の「爆笑」は皮肉の良い例です。続きを読めば分かります！イギリスではこのような番組は、きっと小学生に人気があると思いますが、日本ではこの番組はゴールデンタイムに放送されます！

イギリスでは「スタンダップ・コメディ」と言う1人漫才が一般的です。冗談の内容は、政治全般的についての事や、政治家や有名人などを馬鹿にしたりします。他にイギリスのユーモアと言うと、やっぱり皮肉が特徴的です。私も皮肉が好きで日本でたまに使いすぎて、言っている事を相手が信じてしまっていて困ります！例えば雨の日に、バーベキューを予定していた友達の家に着いて、「今日いい天気です。運が良かったね！」と言うと、変な人に思われました。

またイギリスの特徴ですが、多くのコメディ番組(Sitcom)の主役は何をやっても上手くいかない人で、社会的に居心地の悪い、惨めな情けない人物です。どうしてそんな人物が面白いと、イギリス人に思われるのかと時々考えます。失敗している人間を笑うのが好きだから？私が思うに、イギリス人は惨めで最悪の状況に陥っても、何とかそれを笑いに変える事が大事だと思っているからだと思います。日本でも有名になったモンティ・パイソンの1シーンでも「常に、人生の良い面に目を向けるようにしましょう!」と言っています。

イギリスと日本の違いについて書きましたが、実は国によって笑いのつぼが、全く違うとは思っていません。逆に、人間は何が面白いと思うのかについて、国籍には関係なくそれぞれの人間の持つ好みによります。漫才が好きなイギリス人の友人もいるし、モンティ・パイソンが大好きな日本人もたくさんいます。国境を超えた交流手段として、お笑いが一番楽しい方法だと言えるでしょう。(これは、皮肉ではありません！)

写真は印刷版で

http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber/mail_japanese_no12.pdf

【06】OFIX事業報告

留学生のための合同企業説明会

昨年に引き続き6月26日(金)、企業と外国人留学生を橋渡しするための、合同企業説明会を梅田センタービルB1Fの梅田クリスタルホールで開催しました。

20社に及ぶ企業の説明ブースの他、キャリアカウンセラーによる就職個別相談、行政書士による在留資格相談及び各種セミナーを実施しました。会場には、世界各国の留学生約500人が来場し、企業担当者と留学生の真剣なやりとりが会場から聞こえてきました。中国語通訳ボランティア2名にもお手伝いを頂き「昔の自分の状況を思い出した」と、熱心に留学生のサポートをしていただきました。

企業にとっても留学生にとっても、非常に実りのある説明会であり、定期的に行うことで企業力、留学生のステップアップにつながると確信しました。また、それが大阪の未来に繋がるという願いのもと、本年度11月30日(月)にも大阪市中央公会堂にて、再度開催の予定です。

写真は印刷版で

http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber/mail_japanese_no12.pdf

【07】ボランティアニュース

ホームビジット受け入れ体験談

OFIX国際交流ボランティア(ホストファミリー)の繁本さんから、関西国際センターより依頼のあった、ホームビジット(日帰りホームステイ)体験についてのお便りをいただきました。

6月27日、国際交流基金関西国際センターで日本語を勉強している、爽やかなニュージーランドの好青年デレックさんと、大人しくて控えめなマレーシアのラヒマさんのお二人を、我が家へお迎えしました。

貝塚の有名な水間寺や、近くの公民館を案内した後、夜には私達の友人達も加わって、賑やかに食事会をしました。日本料理を味わってもらいたいと思い用意したお寿司とてんぷらは、豚肉を食べないイスラム教のラヒマさんにも、丁度よかったです。

最初は、恥ずかしがっていた5歳の孫娘も、だんだん慣れてきて得意の大阪弁で話しながら、一緒に遊んでもらい大喜びでした。日本の印象を聞いたり、お互いの国の事を話したりしていると、楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいましたが、彼らとの素敵な出会いと思い出は私達の宝物です。

帰国前日のセンターでの歡送会で、デレックくんが「お忙しいのに、せっかく来てくださってありがとう。」と、私達にお礼を言ってくれました。私が、「わざわざ来てくださって～。でしょ？」と訂正すると、私の友人が「わざわざ来ました。」と冗談を言ったりしながら、再会を誓い合いました。

このご縁を大切に、これからも交流を続けていきたいと思っています。

写真は印刷版で

http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber/mail_japanese_no12.pdf

OFIXボランティアの登録制度のご紹介

ホームステイやホームビジットのホストファミリーになりませんか。様々な国の方と異文化交流できるチャンスです。OFIXボランティア登録制度は、ホストファミリーの他、通訳、翻訳などをしていただく「語学ボランティア」、華道、書道、茶道、武道等の日本文化の紹介・指導等をしていただく「文化等ボランティア」の登録も受付けております。あなたも貴重な体験をしてみませんか。

詳細はOFIXホームページで

http://www.ofix.or.jp/boran/index3_2.html

=====

その他の募集・お知らせ

上海万博大阪出展に関する寄付金を募集しています！

<http://www.ofix.or.jp/news.html#syanghai>

イベントカレンダー：国際交流に関するイベント情報を紹介しています。

<http://www.ofix.or.jp/cgi-bin/calender.cgi>

イベントカレンダーへの情報提供をお待ちしています。

<http://www.ofix.or.jp/cgi-bin/event.cgi>

国際理解学習の授業（小中高）に国際交流員や留学生等を派遣します。

<http://www.ofix.or.jp/jigyuu/index2.html>

OFIXボランティアの登録制度のご紹介

http://www.ofix.or.jp/boran/index3_1.html

OFIX賛助会員の募集及びご寄付のお願い。

http://www.ofix.or.jp/ofix/index4_1.html

=====

OFIXニュースについてのご意見、ご感想はこちら

info@ofix.or.jp

大阪国際クラブの会員の皆様からの海外情報（レポート）はこちら

clubnews@ofix.or.jp

配信中止、配信先変更はこちら

<http://www.ofix.or.jp/mail/index.html#japanese>

「OFIXニュース」印刷版はこちら 写真入りで内容も詳細に。

http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber/mail_japanese_no12.pdf

バックナンバー

<http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber.html#japanese>

=====

発行：(財)大阪府国際交流財団 (OFIX)

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2 - 5 マイドームおおさか5階

TEL 06 (6966) 2400 FAX 06 (6966) 2401